

## 令和元年度 宮崎大学入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和2年2月12日（水曜日） 宮崎大学事務局3階会議室	
委員	委員長 中澤 隆雄 委員 川崎 康司 委員 成見 正毅	
審議対象期間	平成31年1月1日～令和元年12月31日	
抽出案件（合計）	4件	（備考）宮崎大学入札監視委員会細則第5条にのっとり、互選により中澤委員が委員長に選出された。  今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
建設工事（小計）	4件	
一般競争入札 （政府調達に関する協定対象工事）	0件	
一般競争入札 （上記工事を除く）	3件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務（小計）	0件	
標準型プロポーザル方式	0件	
委員からの意見・質問及びそれに対する回答	意見・質問	
	回答	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

別紙

質 問	回 答
<p>1. 平成 31 年 1 ～令和元年 12 月の入札・契約結果について            (事務局から説明)            委員からの意見なし</p> <p>2. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議            (事務局から説明)</p> <p>(1) 一般競争入札  <b>【(木花) 農学部実験研究棟、図書館改修電気設備工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事後的な調査・分析及び改善策で、参加資格の等級や工事实績条件の見直しなどの緩和とあるが、2 等級下位の業者の参加まで認めることを検討するという事なのか。</li> <li>・ 工期が 2 月 28 日となっているが工事は順調に完了する予定なのか。</li> <li>・ 発注時期の平準化については予算措置の時期があるため難しいと思われるがどのように考えているのか。</li> <li>・ 予定価格は事後公表されるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不落・不調となれば再公告を行うことになり、その際には 2 等級下位の C 等級まで拡大する事も検討するが、工事物件そのもの見直しも含めて検討することが必要だと考えている。</li> <li>・ 本件は電気工事であり、同時期に建築工事と管工事を発注したが、管工事は 2 回の不落となったため、工期を 3 月 27 日に設定して発注・契約を行っており、管工事に併せて本件も工期を 3 月 27 日とする変更契約手続を進めているところである。3 月 27 日までには順調に完了する予定である。</li> <li>・ 単年度予算の場合は予算が付いてから年度末までに工事を完了しないといけないため平準化の検討は難しいが、今回のような受注者が見つからない状況が続くのであれば、予算要求の段階から 2 か年国庫債務負担行為という 2 か年度に渡って予算を使用できる制度を大学から国へお願いしなければならないと考えている。</li> <li>・ 落札された場合は事後公表している。</li> </ul>

<p>(2) 一般競争入札</p> <p>【(木花) 農学部実験研究棟空調設備改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本件は2度の不落を受けて4件に分割されたうちのひとつであるが、分割する前の予定価格と4件の予定価格の合計は変わらないのか。</li> <li>・ 空調工事と給排水工事に分割することはよくあるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事費の積算上、4つに分割した方が割高になってしまう。</li> <li>・ 大規模工事であれば空調工事と給排水工事に分けることはあるが、工事を分割することはほとんど無く、2度の不落を受けて取った例外的な措置である。不落となり、業者にヒアリングを行ったところ、空調設備と給水設備を分けて、工事規模も小さいのであれば受注できるということであったため今回は特別に分割発注したものである。</li> </ul>
<p>(3) 一般競争入札</p> <p>【(木花) 基幹整備(寄宿舍屋外給水管)工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約が11月となっているが、遅い理由はあるのか。</li> <li>・ 設計の自前発注、外部発注はどのように分けているのか。</li> <li>・ 最初の不落になった公告の1者の参加者と再公告の結果、落札した業者は同じ業者なのか。</li> <li>・ 他の工事や再公告のため契約が遅くなったとのことであるが、予算は早くから執行できる状況にあったのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (木花) 農学部実験研究棟空調設備改修工事ほか3件の工事が10月に契約完了し、その後、本件に着手している。本工事の設計は自前発注であり、本学の職員のマンパワーにも限りがあるため発注が遅くなっている。また本件は再公告であり最初の公告で不落となったことも原因である。</li> <li>・ 国の補助金事業の場合であれば、設計費も併せて予算措置されるため外部発注を行うことができるが、大学内の予算で工事を行う場合は、近年の予算が削減されている状況のなかで限られた資源を有効に使用するためにも、自前発注することが多い。</li> <li>・ 同じ業者である。</li> <li>・ 予算は4月の始めに交付されており、執行できる状況である。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算は年度の早い時期に確定し、どのようなスケジュールで発注するかというのは決まっているのか。</li> </ul> <p><b>(4) 随意契約</b></p> <p><b>【(木花) 農学部実験研究棟給排水設備改修工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不落の結果、適正価格で受注者と随意契約を行ったとあるが、入札には適正価格で参加しなかったのか。</li> <li>・ 事後的な調査では、様々な手配が困難なことから参加が少なかったとあるが、今回の受注者は手配の問題は無かったのか。問題なく工事を完了できるのか。</li> <li>・ 今回は給排水設備改修工事であるが、実験排水は含まれていないのか。</li> <li>・ 排水は2系統あるのか。</li> <li>・ 排水は最終的にどこへ行くのか。</li> </ul> <p><b>3. その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学の予算について、施設整備費補助金と運営費交付金の割合はどのようになっているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発注のスケジュールを事前に計画し、四半期ごとに発注見通しを公表している。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 随意契約を行った業者は入札には参加していなかったが、参加していれば適正価格で入札していたと思われる。</li> <li>・ 再公告等で遅れて契約したことにより当初予定していた工期に合わせる点が大変だったと思われるが、受注者の努力により工事は問題なく完了する予定である。</li> <li>・ 実験排水系統は別にあるため、今回の工事には含まれていない。</li> <li>・ 実験系、汚水系、雑排水系の3系統ある。</li> <li>・ 汚水系は公共下水に繋がっている。実験排水は公共下水へ流す前にモニタリング装置により、基準値に適合しているか確認して問題が無ければ公共下水へ流している。</li> <li>・ 運営費交付金と施設整備費補助金の割合は決まっておらず、政府の方針によって、毎年の工事の予算は変動する。施設整備費補助金については最近まで予算が削減されていたが、来年度予算は5、6年前の水準に戻る予定である。防災・減災、国土強靱化関係のための予算が上乗せされたためである。</li> </ul>
--	---